

ウォシュレット S1C・S2C 施工説明書

- ウォシュレットS1C・S2Cは、オート便器洗浄機能を標準装備したキャビネット式便器専用ウォシュレットです。
- 施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

施工情報

- 必ず便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレットをセットしてください。(施工のしやすさ、キズ防止のため)
- 便ふたにかぶせているビニール袋は傷つき防止用です。お客様がご使用になるまで、はずさないでください。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

- 警告** 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

⊘	してはいけない「禁止」の内容です。	!	必ず実行していただく「強制」の内容です。
警告		注意	
⊘	浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)	⊘	便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
⊘	交流100V以外では使用しない (火災や感電の原因になります。)	⊘	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
⊘	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままでは使用しない (火災や感電の原因になります。)	!	止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない (水が噴き出します。)
⊘	水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外では使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)	!	施工は施工説明書に従って確実に (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
!	電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)	!	給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)
⚡	アース(D種接地工事100Ω以下)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)		

取り付け前のご注意

1. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、本体にベースプレートをセットして通電しないでください。
温水タンクが空の状態ではヒータが入るため故障の原因になります。
3. 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力はS1C:302W, S2C:414Wです。
この電力に適した配線をしているか確認してください。
4. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください。
6. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7. 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。

同梱部品

リモコン部品	給水ホース
<p>リモコン (図はS2C)</p> <p>リモコンハンガー</p>	<p>長さ: 約1m</p> <p>パッキン付</p>
<p>アンカープラグ (3本)</p> <p>ねじ (3本)</p> <p>リモコン用乾電池 (単3形×2個)</p>	分岐金具
<p>※分解せずにこのままで便器に取り付けてください</p> <p>ボルト(2個)</p> <p>座金(2個)</p> <p>歯付座金(2個)</p> <p>型紙(1個)</p> <p>ゴムブッシュ(2個)</p> <p>くぼみ(2カ所)のある面が下になります。</p>	<p>パッキン(2個)</p>
<p>施工説明書(本書)</p> <p>取扱説明書(保証書付)</p> <p>使いかた説明シート</p> <p>通信販売カタログ</p> <p>点字シール</p> <p>フック(1個)</p> <p>点字シール</p> <p>使いかた説明シート</p> <p>取扱説明書</p> <p>施工説明書</p> <p>通信販売カタログ</p>	

各部のなまえ

便ふた

ラベル

水抜きプラグ(キャップ付)

本体はすしボタン

給水フィルター付水抜栓(キャップ付)

本体

電源プラグ

分岐金具

止水栓

給水ホース

アース線

着座センサー

ノズル

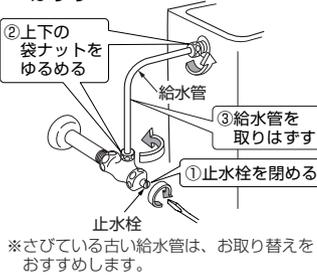
暖房便座

ベースプレート

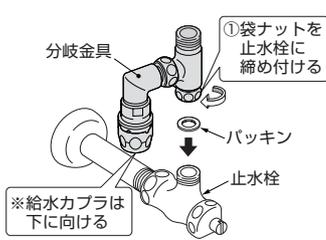
取付方法

1 分岐金具の接続

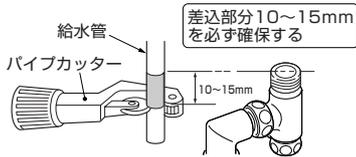
① 止水栓を閉め、給水管を取りはずす



② 分岐金具を止水栓に取り付ける

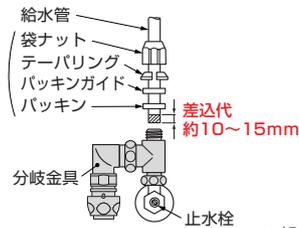


③ 給水管の止水栓側を切断する

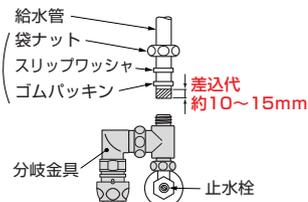


● 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。切断後は切粉などを取り除いてください。

接続部にテーパリングを使用している場合



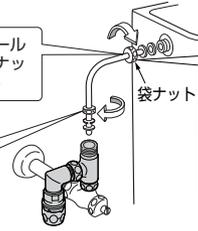
接続部にテーパリングを使用していない場合



● 部品の順番、向きを間違えないでください。

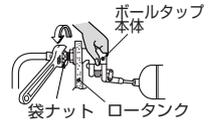
④ 給水管を取り付ける

- ①ロータンク(ボールタップ)側の袋ナットを締め付ける
- ②分岐金具側の袋ナットを締め付ける



注意

- ボールタップ本体が回らないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。



2 ベースプレートの取り付けかた

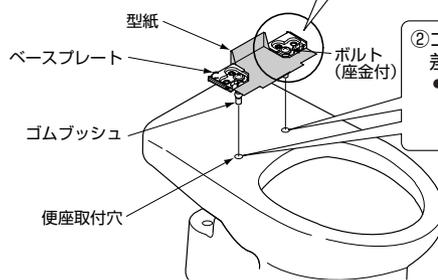
① ベースプレートをセットする

- ベースプレートに付いている型紙はウォシュレットの取付位置を決めるためのものです。この型紙を用いて正しくセットしてください。

注意

ベースプレート部品を分解しないでください。

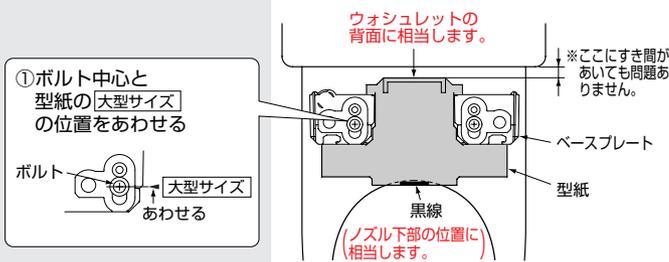
- ①型紙を組み立てる ※組み立てかたは型紙をご覧ください。



- ②ゴムブッシュを便座取付穴に差し込む (左右2カ所) ● ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。

② ベースプレートの位置を決める

- 型紙の「大型サイズ」の位置に合わせて、位置を決めてください。



③ ベースプレートを固定する



④ 型紙をはすす

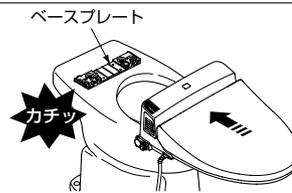


3 ウォシュレットの取り付けかた

① ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

- 本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。

注意 正しく取り付かなかった場合は、本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。



② 本体の取りはずしかた

- 本体右側の本体をはずしボタンを押したまま、本体を手前に引いてください。



※ 本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタつきが発生します。(これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のすき間によるもので、異常ではありません。)
 ※ 便ふたが倒れてくるときは、本体をはずして再度ベースプレートを少し前に取り付け直して便ふたが自立するように調整してください。
 ※ 便座先端が多少出っ張ることがありますので、出っ張りが大きいときは、再度ベースプレートの位置を調整してください。

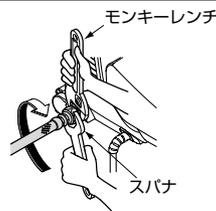
4 給水ホースの接続

1 ウォシュレット本体の給水口に給水ホースの袋ナットを締め付ける

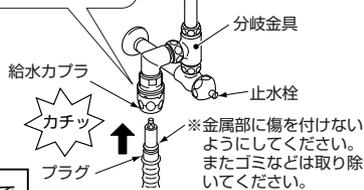
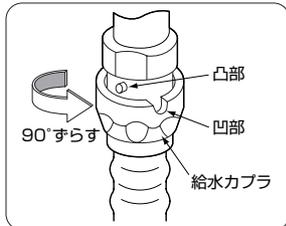
※この状態のまま製品を床に置かないでください。
給水ホースが折れ、水漏れの原因になります。

⚠ 注意

給水口をモンキーレンチで固定して給水ホースを接続してください。
(無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。)



2 給水ホースを分岐金具の給水カブラに差し込む (給水カブラの凸部と凹部を90°ずらしてください。)



POINT!
「カチッ」と音がするまで
差し込んでください。

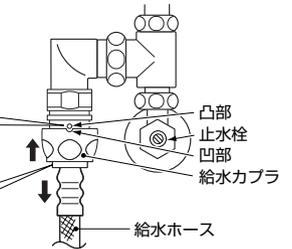
3 給水ホースを取り付けた状態で、本体を取りはずしたり取り付けたりできる長さがあるか確認する

※分岐金具の給水カブラは一時止水機能付ですが、給水ホースを取りはずすときは必ず止水栓を開けてください。

給水ホースのはずしかた

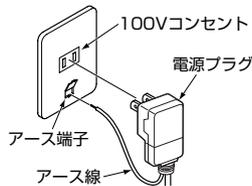
施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。

- 1 止水栓を閉める
- 2 ロータンクの水を流す
- 3 給水カブラの凹部と凸部を合わせ押し上げる
- 4 給水カブラを押し上げたまま給水ホースを引き抜く



5 アース線の接続

●アース線をアース端子に接続してください。
※アース端子が無い場合は電気工事店にご相談ください。



6 電源プラグの確認

1 電源プラグを100V(50/60Hz)のコンセントに差し込む ●ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

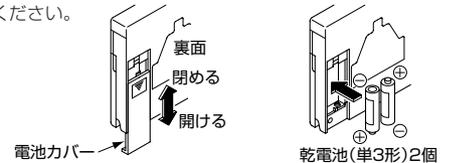
2 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

- 「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
- 「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
以上のように作動すれば正常です。
- 「切表示」ランプが点灯している状態では、通電されません。
テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。

7 リモコンの取り付け

1 電池カバーを開け、リモコンに電池を入れる

※⊕⊖を間違えないでください。



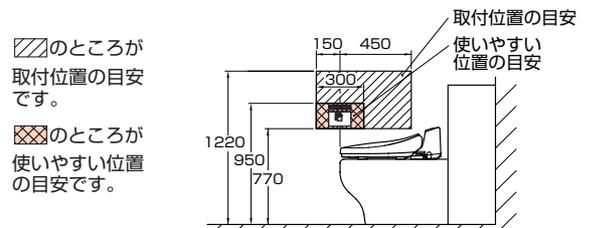
2 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める

〈操作性の確認〉

- 便座に座った状態で操作を行ない、取付位置を決めてください。

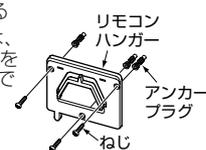
〈作動の確認〉

- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、下図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

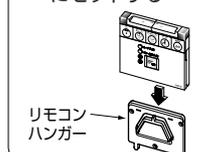


3 リモコンハンガーを取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあける
- 石膏ボード、タイル壁は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、アンカープラグで固定する



4 リモコンをハンガーにセットする



試 運 転

- 試運転の前には必ず「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。
 (「入」のときは、「運転」ランプが点灯します。)
 「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。
お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。

1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
 - 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
 - ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

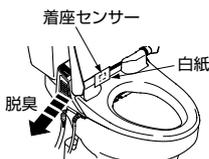


2 機能の確認

(便座を閉めないで着座センサーをはたらきません。)

1 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知します。



2 脱臭機能を確認する

- 本体左側面の吹出口より風が出ていますか？

3 パワー脱臭機能を確認する

- 「パワー脱臭入/切」スイッチを押すと脱臭音が大きくなりますか？
- もう一度「パワー脱臭入/切」スイッチを押すと通常の音に戻りますか？

4 洗浄機能を確認する

- 「おしり洗浄」スイッチを押すとノズルから温水が出ますか？
 (温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)
- 「水勢調節」スイッチを押すと水勢が変化しますか？
- 「止」スイッチを押すと止まりますか？

5 乾燥機能を確認する(S2Cのみ)

- 「乾燥」スイッチ押すと温風が出ますか？
- 「止」スイッチを押すと止まりますか？

6 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまるまで約15分かかります。

7 着座センサーを30秒以上検知させて、白紙をはずす

8 オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか？
- 約1分後に自動で止まりますか？

9 オート便器洗浄機能を確認する

- 約5秒後に自動で便器洗浄しますか？

10 リモコン便器洗浄機能を確認する

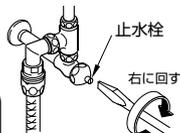
- ※オート便器洗浄後、リモコン便器洗浄機能を確認するときは、10秒以上間隔をあけてください。
- リモコンの「流す」スイッチを押すと便器の水が流れますか？

給水フィルターの掃除

- 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。
 (フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

1 止水栓を閉めて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。
 (給水管内の圧抜きです。)



⚠ 注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜き栓をはずさない(水が噴き出します。)

2 キャップを開けて給水フィルター付水抜き栓をゆるめた後、引っ張ってはずす



3 フィルターを水洗いして小さなゴミを取る

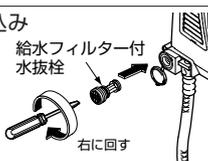
※本体の給水フィルター付水抜き栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



4 給水フィルター付水抜き栓を押し込み確実に締める

⚠ 注意

給水フィルター付水抜き栓は確実に締める(確実に締めないとき水漏れの原因になります。)



5 止水栓を開けて給水フィルター付水抜き栓部から水漏れがないことを確認する

6 キャップを閉める

凍結のおそれがあるときの処置

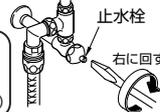
- お客様に引き渡すまでに凍結のおそれがあるときは、電源プラグは差し込んだままにしてください。漏水事故予防のため、次の要領で水抜きしてください。

1 止水栓を閉めて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。
 水が流れ出てしまうまでレバーを回したままにしてください。

⚠ 注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜き栓をはずさない(水が噴き出します。)



2 配管の水を抜く

- ① リモコンの「^{ノズル}おしり_入」を押す
 (配管内の残水を抜く準備です。)

- ② キャップを開けて給水フィルター付水抜き栓をゆるめた後、引っ張ってはずす



- ③ 給水ホースを持ち上げてホース内の水を抜く(約30ml)



- ④ もう一度「^{ノズル}おしり_入」を押す
 (ノズルを元に戻します。)

3 本体を取りはずす



- 取りはずした本体は、便器上面の前側に置いてください。

4 キャップを⊖ドライバーではずし、水抜きプラグをはずして水を抜く



- 水抜きプラグを⊖ドライバーでゆるめた後、引っ張ってはずしてください。
 排水口から水(約700ml)が出ます。

5 水抜きプラグを取り付けた後、キャップを取り付ける

6 給水フィルター付水抜き栓を押し込み確実に締めてキャップを閉める (給水フィルターの掃除 4項参照)

7 本体を取り付ける

工事店様へ

- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。(但し凍結が予想される場合は、電源プラグを抜かないでください。)